

# 受託事業名 千秋が原南公園(仮称)全天候型施設 遊具等実施設計業務

発注者	長岡市(教育委員会子ども家庭課)
受託期間	平成20年8月17日～平成20年9月30日
プロジェクト主査	山下秀之
サイン計画	山下真理子、廣田真治
機械警備工事計画	同上
大型遊具整備計画	同上
什器・備品整備計画	同上
概算見積	同上
プローシャー	同上



概算見積

エアキャッスルは冬期の運動に最適な遊具



42

## □ はじめに

本施設の建築実施設計には、サイン計画や遊具、家具、備品等の整備計画は含まれていませんでした。これらの業務は、公共建築において、美術館やコンサートホールなど、芸術性が求められる場合、設計事務所やインテリアデザイナーに依頼されることが多いのですが、一般的建物の場合、行政内の担当部局が自ら手がけています。

本施設の場合、室内の大型遊具選定と機械警備計画に専門性が求められたので、長岡市より相談を受けました。その頃、タイミングよく山下真理子が株式会社日建設計の設計担当者として従事した千葉市の第一種市街地再開発事業「きぼーる」が竣工しました。6Fには、最新の子育て支援施設ができあがっていましたので、長岡市役所の方々にマイクロバスでご足労いただき、千葉市役所の担当者にご説明していただきました。

その後、長岡市からは、本設計業務も含め、ロゴマークやパンフレットのデザインにいたるまでの業務依頼をいただくことになりました。おそらく、箱だけではなく、中身やCIも充実させる必要があると、子ども家庭課をはじめとする関係各位が、積極的に感じたのだと思います。結果として、私たちが提案したほとんどの内容が、実現することになりました。オープン後、4ヶ月で10万人の来館者を数えました。子ども家庭課によれば、ママさん、パパさんの多くは、「おしゃれだから」という理由でリピートしているそうです。

公共建築では、ともすれば、無機質でネズミ色な事務机や事務用品、単に安いという理由だけの椅子が入ったり、地域業者の関係製品が入ったりしがちです。本施設でも、担当部局の判断が反対向きだったならば、それもあり得たことなので、これ幸いというほかありません。

## □ 補足

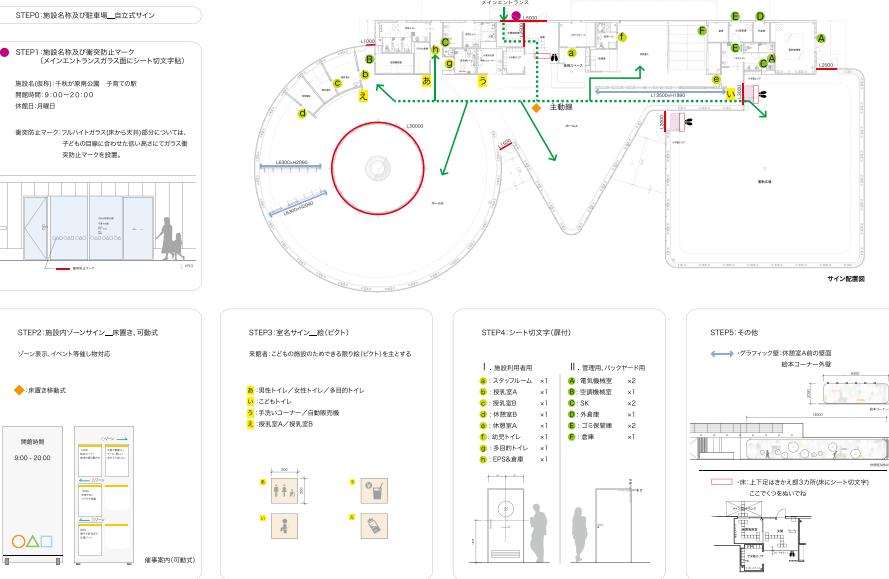
千葉市の「きぼーる」を視察された長岡市役所の方々は、子ども家庭課のみならず、まちなか整備課、都市計画課、公園緑地課より計17名を数えた。計画を進めていた長岡シティホール(事業費130億円)のこともあるって思われる。

「きぼーる」は、千葉市中心市街地の低迷を阻止すべく立案された経緯がある。科学館、保健福祉センター、ビジネス支援センター、子育て支援館、リテールが複合的にひとつの建物にまとめられている(2007年、延面積約5万m<sup>2</sup>、事業費約200億円)。長岡市の青少年文化センター所長は、科学館の最新プラネタリウムを見て、長岡にも必要だと言われたそうである。

## □ サイン計画の概要

本施設は、メインエントランスを入ると目の前に水平連続窓を通して公園の緑が広がるのみで壁が全くない。しかも館内案内を必要とするほど小部屋の数は多くない。よって、こどものための施設ゆえ、言葉ではなく、絵(ピクト)を中心とするサイン計画とした。コストと工期が厳しいため、耐久性を要求される外部サイン(施設名称及び駐車場のIN/OUTサイン)に予算のほとんどをあてがい、室内はシート切文字とすることでコストバランスをはかった。

表示は、子ども目線で分かりやすいことが重要となる。また、壁面全面に絵を描くことで、おしゃれ度合いが高まる場合がある。スターバックスコーヒーの店舗が好例である。右図は、猪熊弦一郎の絵を例としたが、本学学生のコンペも提案した。



## □ 機械警備工事計画の検討1 セキュリティセンサー&インターフォン

### 1 マグネットセンサー

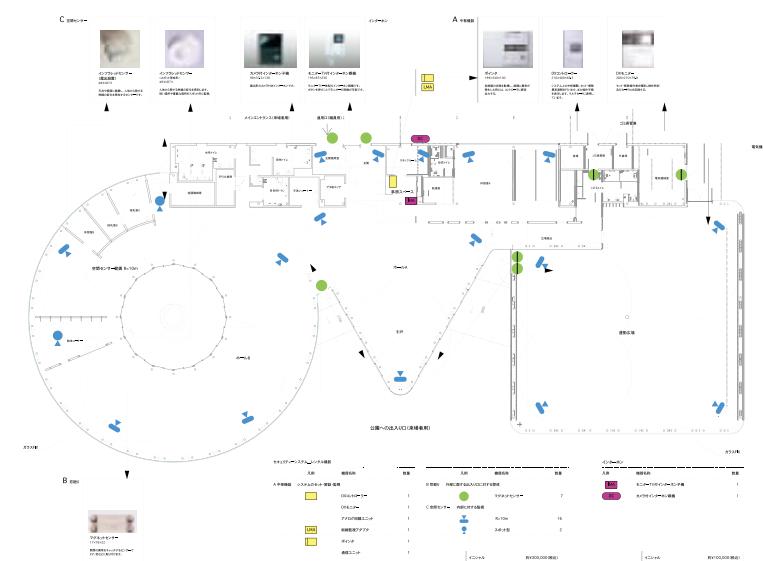
本施設の窓は、職員の目が届かない範囲では開かない仕様になっている。よってメインエントランス及び公園に面する出入り口の扉2カ所に対してのみ、マグネットセンサーを計画した。

### 2 空間センサー

まる、さんかく、しかく、それぞれのオープンスペースを、空間センサー(10mの円)でカバーすると、右図のように5つ、3つ、4つの円で済ませることができる。ただし、絵本コーナーのように空間を遮るボリュームがある部分や、コア部の諸室に対してはスポット型にて検討した。

### 3 インターフォン

時間外の来館者対応や身障者の方への対応に、テレビカメラ付きのインターフォンを計画した。通常、福祉のまちづくり条例等により、室内の受付カウンターまで誘導ブロックを敷き込まなければならない。しかし、主たる来館者が子ども、ベビーカー利用者であるため、市担当部局との事前協議を重ね、玄関扉で誘導ブロックをとめることにした。インターフォンあってゆえである。



## □ 機械警備工事計画の検討2 セキュリティカメラ

プライバシーの保護とコストバランスを検討し、職員の目が届かないと思われる部分(死角)をチェックするべく、以下3つの場所に計画した。

### 1 玄関周り

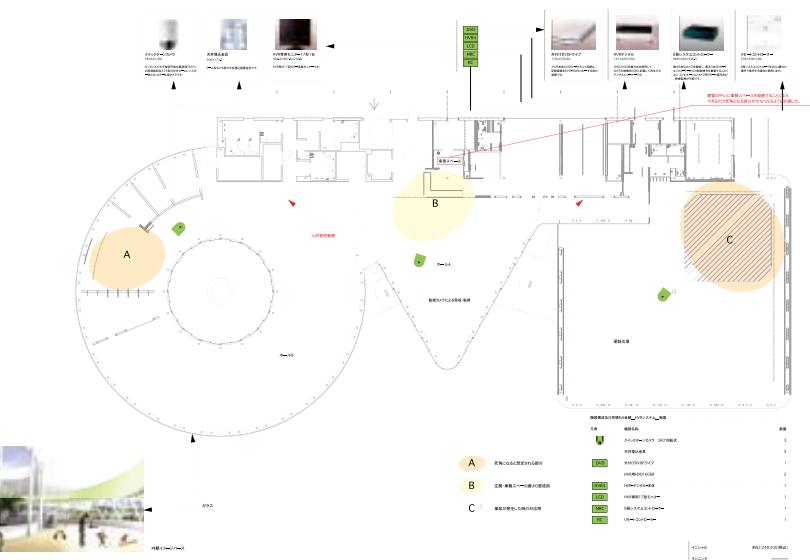
唯一の出入口となるメインエントランスをチェックすることにより、不審者の侵入等への抑止効果をねらった。

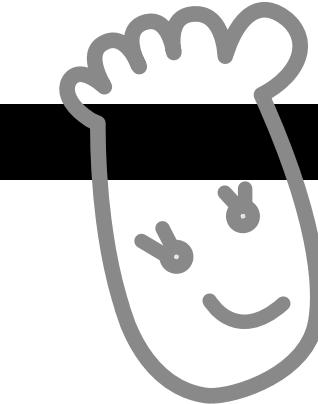
### 2 ○エリア\_絵描きコーナー

手前の諸室(授乳室や休憩室B)のボリューム等に遮られることにより、死角となる恐れがあるために計画した。

### 3 □エリア\_固定大型遊具

固定式で設置される大型の遊具、キャッスルを中心に、360度回転式のカメラにて空間全体を1台でカバーする。





## 実施された遊具の配置

まる まる まる まる さんかく しかく しかく しかく  
ザノッタ ベビーエクスプローラ ままごとキッチン ブロックモジュール ナナ・ティッツェル エアキャッスル サイバーホイール ブロックモジュール

しかく  
キヤッスル しかく  
ブロックモジュール しかく  
ブロックモジュール

しかく  
キャッスル

## □ 小型遊具整備計画の検討(上図)

○と△の接触部分を起点として、バームクーヘン状に対象年齢を設定した。受付カウンターの職員から一番目が届くエリアを「ハイハイコーナー」とし、ソファ等で取り囲むことで赤ちゃんが違うエリアへ行かないようにした。徐々に、対象年齢があがり、「ごっこ遊びコーナー」→「コンストラクションコーナー」と、年齢にあわせた遊び方に対応できるよう、小型遊具を選定した。

## □ 大型遊具整備計画の検討(下図)

冬場の子どもの運動不足を補うため、遊んでいるうちに自然と運動能力の向上がはかられるという遊具を検討した。都内でボーネルンド社が運営する1つの有料施設に着目した。ボーネルンドの遊具は、民間有料施設としてここ数年で全国展開はじめていた。固定遊具をシンボルとしたいという長岡市の要望に対し、こどもの城、キャッスルを計画した。その他の大型遊具は片付けられることが前提条件だったので、エアータイプ（エアトラック、エアキャッスル等）を提案した。中でもサイバーホイールとよばれるポリ塩化ビニールでできた透明な遊具は、遊んでいるうちにでんぐり返しができるようになる。実施されることになったが、ボーネルンド社の製品が、公共施設で納入されたのは、前橋市について全国で2番目である。

・ハイハイ赤ちゃんも、上左上右歩きの子も、ぐるぐる遊べるスペース

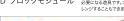
ハイハイする赤ちゃんのための遊具(ベビーエクスプローラ アドベンチャー)や、木製のキッチンセット、こどもサイズの可愛らしい家具を選んだ。

んかく：パパ・ママにカフェのような空間を

落ち着いた木目調の家具は、北欧デザインのものを中心に選んだ。ベビーチェアも、年齢に応じて高さを調整できる、「トリップトラップ」を選んだ。イエローとライムの2色は、「てくてく」のテーマカラーとなっている。

**かく**：大型遊具で思い切り遊べるスペース

色鮮やかな大型遊具も、北欧デザインのもの。こどもはもちろん、大人も夢中になるような、ダイナミックな遊びに対応する。大人気の場所になっている。

<b>D ブロックモジュール</b>	今季おもな新商品。シニア用ブロックモジュール。組み立て式で、組み替えて遊べます。
	
90 x 2 + 200(100) (M&L) + 40 x 2 + 90(50) (M&L) + 12 x 10(50) (M&L)	各部品の組合せにより、様々な遊び方ができます。
90 x 2 + 165(60) (M&L)	
<b>E ユアトラック</b>	室内遊び場に適した、軽量のユアトラック。組み立て式で、組み替えて遊べます。
	
90 x 2 + 100(50) (M&L) + 40 x 2 + 90(50) (M&L) + 12 x 10(50) (M&L)	各部品の組合せにより、様々な遊び方ができます。
90 x 2 + 165(60) (M&L)	
<b>F ユアキャスル</b>	木製のユアキャスル。組み立て式で、組み替えて遊べます。
	
90 x 2 + 100(50) (M&L) + 40 x 2 + 90(50) (M&L) + 12 x 10(50) (M&L)	各部品の組合せにより、様々な遊び方ができます。
90 x 2 + 165(60) (M&L)	

## □ 什器・備品整備計画の検討(左図)

テーブルと椅子はもちろんのこと、ゴミ箱、ファックス電話機、壁掛け時計などのひとつひとつにまでこだわった。建築デザインとのコーディネーションは言うまでもなく、細部に至るまで色、質、コストのバランスを考え提案した。

メインエントランスを入った目の前は、親の空間なので、北欧の家具（ナンナ・ディッセルのトリニータードチェア）を選定した。△の空間をほぼ埋め尽くすほど数が多いので、椅子は場の印象を強く左右する。ありふれたセブンチェアではなく、個性的でおしゃれな椅子が、オープン後に特に若いママたちの気を引きつけるだろうと考えた。

また、イケアや無印良品など、これまで公共建築にはほとんど導入されていないメーカーの製品を選定した。通常、市内の家具ディーラーが什器・備品をみくろう場合、代理店を通さないメーカーの製品は選定されることはない。よって、イケアも無印良品の製品がリストアップされることはほとんどない。しかし、今回、あえてその壁を突破したいと考えた。

## 什器・備品リスト

## 大型・小型遊具リスト